

# 第9回講座

## 情報収集アプリ活用を

## 障害に応じた支援必要

## 時間要すインフラ復旧

ドコモ東北支社ネットワーク部長  
岩越 学さん

東北福祉大総合福祉学部助教  
阿部 利江さん

東北地方整備局総括防災調整官  
一戸 欣也さん

### 311 伝える／備える 次世代塾

第2期

「311」伝える／備える」次世代塾」第2期の第9回講座が13日、仙台市宮城野区の東北福祉大仙台駅前口キャンパスであった。テーマは復旧期を学ぶ第2フェーズの「考える」。震災時の通信状況、被災障害者への支援、インフラの復旧と課題の各テーマについて、NTTドコモ東北支社ネットワーク部長の岩越学さん(49)、東北福祉大総合福祉学部助教の阿部利江さん(36)、東北地方整備局総括防災調整官の一戸欣也さん(57)の3人がそれぞれ講師を務めた。

「311」伝える／備える」次世代塾」第2期の第9回講座が13日、仙台市宮城野区の東北福祉大仙台駅前口キャンパスであった。テーマは復旧期を学ぶ第2フェーズの「考える」。震災時の通信状況、被災障害者への支援、インフラの復旧と課題の各テーマについて、NTTドコモ東北支社ネットワーク部長の岩越学さん(49)、東北福祉大総合福祉学部助教の阿部利江さん(36)、東北地方整備局総括防災調整官の一戸欣也さん(57)の3人がそれぞれ講師を務めた。

「311」伝える／備える」次世代塾」第2期の第9回講座が13日、仙台市宮城野区の東北福祉大仙台駅前口キャンパスであった。テーマは復旧期を学ぶ第2フェーズの「考える」。震災時の通信状況、被災障害者への支援、インフラの復旧と課題の各テーマについて、NTTドコモ東北支社ネットワーク部長の岩越学さん(49)、東北福祉大総合福祉学部助教の阿部利江さん(36)、東北地方整備局総括防災調整官の一戸欣也さん(57)の3人がそれぞれ講師を務めた。

若者が東日本大震災で起きたことに向き合う通年講座「311」伝える／備える」次世代塾」第2期の第9回講座が13日、仙台市宮城野区の東北福祉大仙台駅前口キャンパスであった。テーマは復旧期を学ぶ第2フェーズの「考える」。震災時の通信状況、被災障害者への支援、インフラの復旧と課題の各テーマについて、NTTドコモ東北支社ネットワーク部長の岩越学さん(49)、東北福祉大総合福祉学部助教の阿部利江さん(36)、東北地方整備局総括防災調整官の一戸欣也さん(57)の3人がそれぞれ講師を務めた。



通信手段を失った被災地で、臨時電話に順番待ちの列ができた  
=2011年3月13日、名取市増田の名取市役所

### 受講生の声



**地域に関心持つ**  
障害のある人もない人も、住民みんなが防災訓練や話し合いに参加する必要があります。地域があると、困った時に手を差し伸べることができると感じました。(仙台市太白区・東北福祉大2年・大内星季さん・20歳)



**当事者の声大切**  
震災から時間がたつにつれ、インフラ整備に携わる他地域から派遣職員が減ることが課題の一つと感じました。(仙台市太白区・東北学院大3年・猪越達也さん・21歳)



**訓練に積極参加**  
携帯端末のラジオアプリや安否確認など災害用アプリに慣れ、身近な人に広めたいと思いました。防潮堤の整備など災害対策が進んでも危機感を忘れず、積極的に訓練に参加することが大切だと感じました。(仙台市青葉区・宮城教育大3年・上林有希さん・21歳)



**支援が必要だ」と訴えた。**  
2015年に仙台で開かれた国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組」により障害者も防災を担うべきだ」と訴えた。関係者と初めて位置付けられたことも説明した。阿部さんは「障害者自身も受援力を高めることが求められるし、私たちも自分事と捉え、地域に暮らす人たちに関心を持つ」と結んだ。最後の一戸さんは「災害時、人命救助や物資搬送にはインフラ復旧が欠かせない」と話し、「津波がれきり撤去では各地の地元建設会社が危険を顧みず先頭に立ち、地域に暮らす人たちに

メモ 311「伝える／備える」次世代塾を運営する「311次世代塾推進協議会」の構成団体は次の通り。河北新報社、東北福祉大、仙台市、東北大、宮城教育大、東北学院大、東北工業大、宮城学院女子大、尚絅学院大、仙台白百合女子大、学都仙台コンソーシアム、日本損害保険協会、みちのく創生支援機構。協議会事務局は河北新報社防災・教育室=メール jisedai@po.kahoku.co.jp